

# 情報リテラシー教育の再考

～そろそろ図書館目線から離れよう～



OSAKA UNIVERSITY  
Live Locally, Grow Globally

久保山 健 (KUBOYAMA Takeshi)

大阪大学附属図書館 学術情報整備室 (図書受入主担当)

<November 28, 2014>

学術情報リテラシー教育担当者研修

会場： 国立情報学研究所

事後公開版

# (0) はじめに

## ■ 到達目標

- 大学教育、ICTを巡る環境変化の中で、情報リテラシー教育／学修支援のあり方を考える。
- 受講者の職場における対応策を考え、次の行動につなげる。

# (0) はじめに

## ■ 本講義の要点

### 「情報リテラシー教育の再考」

◆ 大学教育との距離の縮め方を考える

-- 顔の見える関係から問題意識・関心の共有 --

◆ ユーザインタフェースを改めて考える

-- フロントにいる人も説明不要のデザインを --

◆ 学生に伝える内容を考える

-- 相手目線でトライ・アンド・エラーを --

# (0) はじめに

## ■ 講師／職場のバックグラウンド

- 図書館スタッフ：

授業一コマでの「図書館活用法入門」

- Teaching Assistant：学習相談、講習など

- 教員と図書館スタッフ：

レポート講座

論文の書き方・読み方

プレゼン入門：話す基本技術



# (0) はじめに

- 多言語多文化理解のための共同学習スペース
- 2012年11月オープン
- 学びのスタイルの多様化
- 国際化



・個別／グループインタビュー  
※「結果」より「過程」

# (0) はじめに

## ■ 情報リテラシー教育のステレオタイプ

- 図書館は便利なんだから、しっかり使って勉強してね。
- OPACも文献DBも、便利なんだからちゃんと覚えてね。
- GoogleよりWikipediaより、図書館ツールよ。
- 前方一致とか論理演算とか使って、ちゃんと調べてね。
- 高価なDB、利用実績も上げなきゃ。

### <皆さんの悩み(事前課題から)>

- スキルの引継ぎ ; 人員 ; プレゼン技術向上
- 学生を飽きさせないように ; 内容
- 参加者数      ・ 広報      ・ ニーズの把握
- 教員等との連携

# (1)大学教育との距離の縮め方

## ■ステークホルダー

- 学生

学習、知識やスキルの習得  
卒業～キャリア形成

- 教員

教育、知識やスキルの伝達・習得を促す

※学生や教員にとっての「価値」とは何か

# (1)大学教育との距離の縮め方

## ■プレイヤー

- 共通教育、教育学習支援部門  
(各教員・各種サポート室)
- 学生 (まずは図書館によく来る／図書館に近い活動  
をしている層)
- 各部局 (各教員)
- 情報系の部署
- 国際交流の部署
- 学生支援／キャリア支援の部署



# (1)大学教育との距離の縮め方

## ■教育との距離の縮め方（例）

### (1) 講習会などの「商品化・事業化」

問題意識を共有できる教員と協働

話題の共通性；話題の広がり

### (2)授業、講習会、新コモンズのグループインタビュー、パンキョー革命

→「顔の見える関係」

# (1)大学教育との距離の縮め方

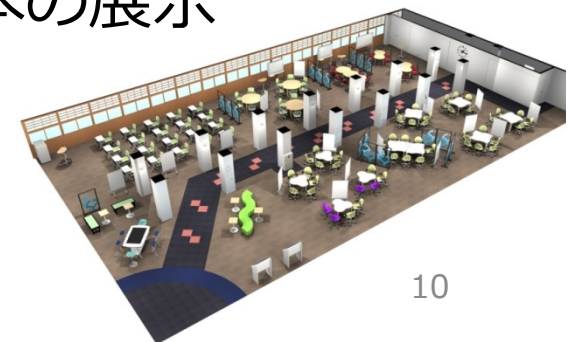
## (3)接点を増やして、価値観や方向性の共有

(\* )教員や学生の行動や考えていることって分かる？  
分からないとして、ではどうする？  
まずは雑談から？  
他のイベントで接点作りも。

(2013.1～) 1-2回生によるプレゼンイベント、クラス代表懇談会、学生による本の出版企画ショセキカに協力・阪大生の著者トーク共催、学生による本の展示

## (4)グローバル・コモンズ

…さえもマーケティング・ツール!?



# (1)大学教育との距離の縮め方

## ■グローバル・コモンズ開設時(2012.11)

(情報リテラシー教育とは直接関係ないけども…)

○意識したのは「自分目線の排除」

○実感したのは「好みの多様さ」(テーブルやイスなど)

- ・具体的には、テーブル、イスの形、座りたい場所など



## (1)大学教育との距離の縮め方

■ さらに、授業で必要とされる「サービスメニュー」の共同開発、サポートのニーズなどに発展すれば…

■ 大事ななのは

「声かけ」

「小さな機会を活かす」

※時間や性格的に誰にでもできない?

→必要と感じるなら努力を

→ほんとに無理なら、同僚のサポート、後押しを

## (2) ユーザインタフェースを考える

- ディスカバリ・サービス、次世代型カタログの広がり、デバイスの変化
- それ以前に、種々の検索サービスに  
「マニュアル」がある？ 見る？
- 説明が必要なツールを提供している？

→何が変わるか

- ・ やめる； コアユーザは来るだろうから続ける
- ・ 深い内容に重点を移す； 見せ方を変える
- ・ 内容を変える

## (2) ユーザインタフェースを考える

### ■ 皆さんへの期待

- 皆さんの立場 = ユーザ対応のフロント
- 蔵書検索等、サービス改善の[後方]支援
  - ・システムのことよく分からない?  
→情報の重要度、使いやすさはどう?
  - ・使い方を教えなくてよいデザイン  
(\* )その上で漏れたところは何らかの方法で

## (2) ユーザインタフェースを考える

### ■ 質問

- 情報の重要度、説明を減らすための見せ方の観点で、次の画面例の問題点を考えよう。

SEの教科書 / 深沢隆司著

(技評SE選書 ; 001)

詳細を非表示

版	完全版
出版者	東京 : 技術評論社
出版年	2009.11
大きさ	349p : 挿図 ; 19cm
別書名	表紙タイトル:The pragmatic manual 異なりアクセスタイトル:SEの教科書
一般注記	『SEの教科書』『SEの教科書 2』に加筆・修正し、再構成したもの
著者標目	深沢, 隆司 <フカ
件名	B5H:情報産業 B5H:情報処理技 NDLSH:システム NDLSH:システム NDLSH:プロジェ
分類	NDC8:007.3 NDC9:007.35 NDC9:007
本文言語	日本語
コード類	書誌ID=2004219

①書名等の見せ方

- 見出しは全て同じフォント
- 詳細情報が同じフォントで、画面の上部、全体を占めている。
- 情報の重要度は?

②使用意図不明の記号

- スラッシュは一般的に "or" を示すのでは。
- まさか、"スラッシュより前が書名" と説明!?
- 書籍の特定に必要な項目をコンパクトに出す。

③所在情報の位置

- 重要度"高"の情報が下部に
- さらに重要度で文字の大きさなど変えられないか。

EndNote/EndNote Web出力



巻次	配架場所	請求記号	登録番号	状態	利用注記	コメント	ISBN	刷年	予約/取寄	複写
	総合図-A 棟2階キ ャリア支 援図書	007.35/FUK	10301681762	貸出中[2012.10.09返却期限]			9784774140162		申込み	



<参考：蔵書検索の表示項目・方法>  
#図書館サイト、ディスカバリーも含めた見せ方も合わせて考えるべきですが。



HOME 総合利用案内 学習/研究サポート よくある質問 図書館・室一覧

図書館を使う

- サービス案内
- 図書館利用証の種類
- 学外の方へ
- 図書館・室マップ
- 講習会・イベント
- 資料の探し方ガイド
- オンラインサービスガイド
- 予約・貸出更新ガイド
- 返却期限日お知らせメール

蔵書検索

論文検索 貴重資料画像 他大学検索 横断

簡易検索 詳細検索  レビュー・タグを含む

SEの

- SEのためのコーチング技術
- SEのための仕様の
- SEのための内部統
- SEのための見積り
- SEのための通信フ
- SEのための銀行三
- SEのトホホな舞台裏
- SEの基礎知識
- SEの思考法と技術
- SEの教科書

[京都大学蔵書検索](#). 2014.10.29.参照  
・富士通製  
(他に、[神戸学院大](#)、[大阪歯科大](#)など)

KULINEスマートフォンアプリを再開

## 書誌詳細

▲ [検索結果一覧へ戻る](#)



### SEの教科書

深沢隆司著. -- 完全版. -- 技術評論社, 2009. -- (技評SE選書 ; 001).  
 <BB03193956>

総合評価 : ★★★★★

登録タグ : 登録されているタグはありません

便利機能 : [ブックマーク](#) [出力](#) [メール](#) [文献管理](#)

- ▶ [目次・あらすじを見る](#)
- ▶ [レビューを見る](#)
- ▶ [詳細情報を見る](#)

書誌URL :  [選択](#)

所蔵一覧 1件~1件 (全1件)

\* 項目の表示順、大きさ、項目見出しの排除など、考慮が強く感じられる。

10件 ▾

No.	巻号	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日
0001		附図	2F 開架	M  159  E62	200015199945		

OPAC

https://opac.rikkyo.ac.jp/opac/opac\_details/?reqCode=fro

立教大学図書館 蔵書検索  
RIKKYO UNIVERSITY LIBRARY Online Public Access Catalog

OPAC 図書館サービス 利用者サービス 図書館 立教大学

[立教大学\(NEC/CMS\)](#)  
[十文字学園女子大学\(日本事務器\)](#)  
[九州工業大学\(リコー\)](#)の蔵書検索  
 2014.10.29-31.参照

簡易検索: 表現の技術 講談社 立教大学 検索 +詳細検索

検索結果一覧に戻る

「分かりやすい表現」の技術：意図を正しく伝えるための16のルール / 藤沢晃治著  
 ワカリヤスイヒョウゲンノギジュツ：イト オタダシクツタエル タメノ16ノルール  
 (ブルーバックス；B-1245)

- NEC/CMS：他に[青山学院大学](#)、[駒澤大学](#)
- 下部に「類似資料」

十文字学園女子大学 図書

opac.jumonji-u.ac.jp/search/detail.do?ro

JUMONJI UNIVERSITY 図書館蔵書検索

図書館HP 【図書・雑誌・新聞】資料の探し方 図書館活用術  
 利用案内・問い合わせ先 スマートフォン版OPAC

TOP | 詳細検索 | ブラウズ | ジャーナル検索 (ABC)

クイックサーチ 検索語を入力

詳細検索 → 一覧 [全て] 分かりやすい表現の技術  
 → 図書 [詳細] 「分かりやすい表現」の技術：意図を正しく伝えるた  
 著||ワカリヤスイヒョウゲンノギ...

図書情報詳細

印刷 ダウン

項目名	内容
書誌ID	U100122393

分かりやすい表現の技術 x 資料検索

https://www.lib.kyutech.ac.jp/mylimedio/search/book.d

九州工業大学附属図書館

所蔵資料を検索

下部に「この本を借りた人は…」  
 リコー：他に[北海道教育大学](#)  
 先頭ページはDrupal使用

「分かりやすい表現」の技術

ワカリヤスイヒョウゲンノギジュツ  
 藤沢晃治原作；カノウ漫画；银杏社構成  
 東京：講談社，2011.10  
[Google Books](#) で詳細を見る

ブックマーク

この本を借りた人はこんな本も借りてい

所蔵：

巻号	予約	予約人数	刷年	所在	貸
1	<input type="checkbox"/>	0	2011	本館 閲覧室1階 文庫	学書

◀ 前のレコード

一覧に戻る(8件)



>> Google Books

Text

EndNote Web

Print

Link This Page



### 「分かりやすい表現」の技術：意図を正しく伝えるための16のルール

フォーマット: 図書

責任表示: 藤沢晃治著

言語: 日本語

出版情報: 東京: 講談社, 1999.3

形態: 189p; 18cm

著者名: 藤沢, 晃治 <DA12121319>

シリーズ名: ブルーボックス; B-1245 <BN00081030>

書誌ID: BA40629461

ISBN: 9784062572453 [4062572451]

所蔵情報

状態	巻	所在	請求記号	図書ID	返却予定日(予約数)
----	---	----	------	------	------------

[三重大学蔵書検索](#). 2014.10.29.参照

(NTTデータ九州製)

他に、[東京外国語大学](#)など

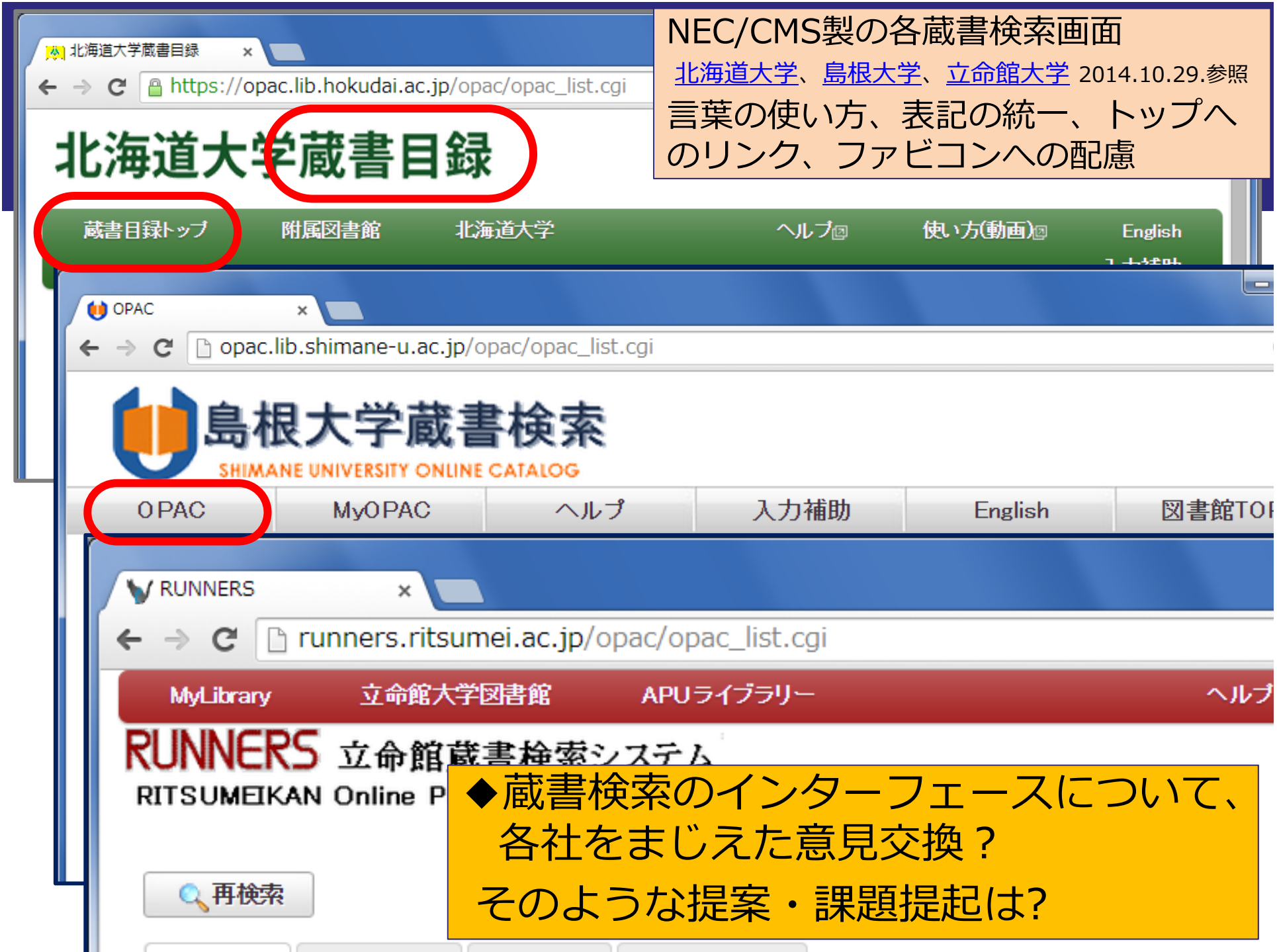
\* 書誌情報を目立たせる配慮、必要項目の見せ方などが感じられる。

\* なかなか消えない「請求記号」

→[九州大学](#)では「所在記号」

NEC/CMS製の各蔵書検索画面

北海道大学、島根大学、立命館大学 2014.10.29.参照  
言葉の使い方、表記の統一、トップへのリンク、ファビコンへの配慮





図書館Webサイトのトレンドは、検索窓を目立つ位置に配置？

(例)以下の大学図書館サイト

- [大阪大学](#)
- [九州大学](#) \*
- [筑波大学](#)
- [広島大学](#)
- [青山学院大学](#)
- [国際基督教大学](#)
- [University of Pittsburgh \(US\)](#) \*
- [University of Guelph \(CAN\)](#)
- [University of Sheffield \(UK\)](#)

\*画面を引用 (2014.10.29.参照)



OSAKA UNIVERSITY  
Uta Toralio, Goro Gishaku

航空券 予約・空席照会

www.ana.co.jp

ANA Inspiration of JAPAN

5 STAR AIRLINE SKYTRAX

年末やお正月も！3月28日搭乗分までの「旅割」  
ただいま発売中！>>

国内線航空券 国際線航空券 国内ツアー 海外ツアー

航空券 航空券+宿泊(旅作) ホテル レンタカー

出発地 大阪(伊丹) 到着地 東京(羽田)

搭乗日 10月14日(火)

大人(12歳以上) 1名 小児(3-11歳) 0名 幼児(0-2歳) 0名

ソフトウェアキーボードで入力

お客様番号[10桁] ログイン状態

お客様番号をお忘れの方 ログイン

パスワード

パスワードをお忘れの方

※Webパスワード登録済みのお客様は、Webパス

特別なお知らせ

- ▶ 台風19号による運航への影響について
- ▶ (欠航・遅延時)安心のお客様サポート
- ▶ ANA公式ホームページにおける「Webパスワード」導入
- ▶ ANAマイレージクラブ特典「iTunesギフトコード交換サ

INFORMATION / ANAからのお知らせ

東日本大震災に伴うお知らせ

ボーイング787型機 ANAからのお知らせ

当社の関係者を騙る不審な電話にご注意くださ

2014年9月1日より機内での電子機器の使用ル

10/9 「樺まつり」期間限定で東京=大島線の「特

10/1 スマートフォンアプリ「ANA」が2014年グ

https://aswbe-d.ana.co.jp/9Eile48/rsvp/dyc/ASWRceipt.do?rand

国内線 | 空席・運賃を探す 国際線 | 空席・運賃を探す 運航状況

国内線航空券 航空券+ホテル(ダイナミックパッケージ) ホテル・レンタカー

出発地 東京(羽田) 到着地 東京(羽田)

JALマイレージバンク

マイルがたまる

電子マネーWAON がついた!

OSAKA UNIVERSITY

## ■ 私的に参考にするサイト

- ANA、JAL 2014.10.14.参照
- (\*)ANA SKY WEBを大幅にリニューアル! (2013.7.22 プレスリリース)  
<http://www.ana.co.jp/pr/130709/13-070.html>

## ◆ 蔵書検索のインターフェースも共通仕様には? そのような提案・課題提起は?

- この2社: 画面の類似性
- 数年前にも、仕様共通化の議論

## (2) ユーザインタフェースを考える

- 文献データベースの可視性を高めるために…

例えば、

- ・ 日経新聞電子版 Windows8 専用アプリ
- ・ 蔵書検索 スマホアプリ

のような発想は？

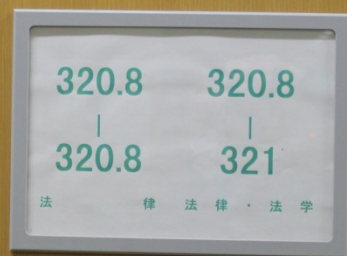
(\*)大学スマホアプリ、すでに[徳島大学](#)など。



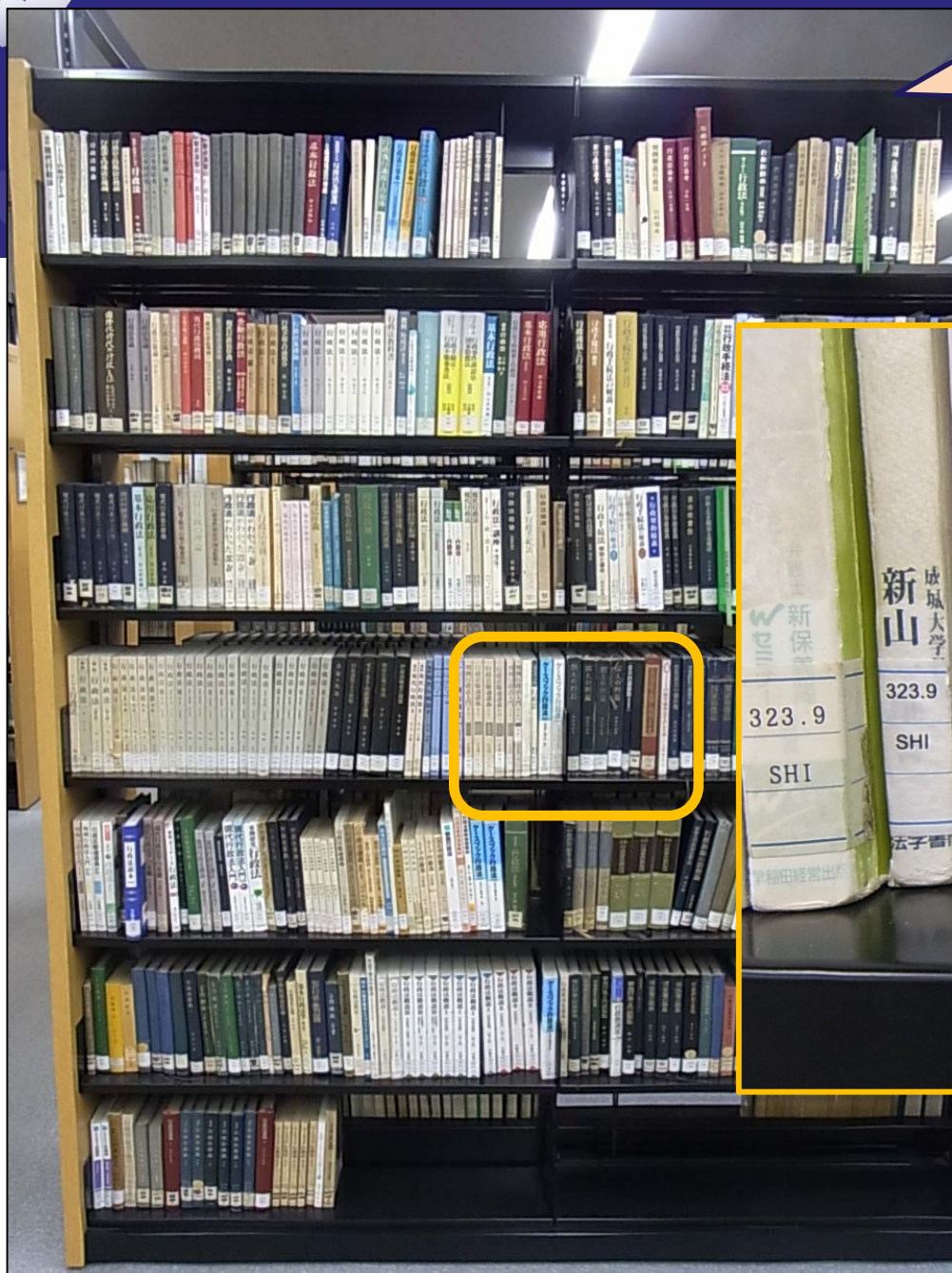
3049

3050

どれが見るべき情報が  
伝達しないといけない？



本の並びはどこで折り返しているか  
説明しないとイケない？



## (2) ユーザインタフェースを考える

### ■ 検索ツールが進化しても

- 画面上/Webサイト上のナビゲーション
- 新デバイス（タブレット端末）への対応
- 見つけられやすくするためのデータ管理
- 利用分析、調査、改善
- 個別の検索ツールは当面続く
- 利用のサポートは続

メーカーさんに、何かの機会に、説明不要のデザインについて、要望を伝える（少しでもいい）。それが改善につながる。

「皆さんの主体的な改善は続く」

## (3) 伝える内容を考える

- 大学/大学図書館の環境、ICT環境が変わってきて、伝えることは何か
  - 図書館事情によるものは減少すべき  
(詳細検索、論理演算、請求記号の意味…)
  - 講習会に[わざわざ]来てもらえるか、図書館の使い方に興味を感じてもらえるかと、あえて問い直す必要はないか。
  - 図書館が行う教育活動はどうあるべきか。各大学の教育改革の文脈で考える必要があるはず。

## (3) 伝える内容を考える

### ■ 例えば…プレゼン入門：話す基本技術（講習）

時期	回数	実人数(のべ)	有用度評価 (*)	
① 2012.2-3	基本編2回 × 4	31 (58)	4.50	
② 2012.9	基本編2回 × 2 + 発展編1回 × 1	15 (33)	4.56	発展編追加
③ 2013.2-3	基本編2回 × 6 + 発展編1回 × 2	40 (80)	4.64 オール5：6コマ	複数地区で開催
④ 2013.5	基本編2回 × 1 + 発展編2回 × 1	17 (35)	4.68 オール5：最終回	授業期に開催、 発展編2回化
⑤ 2013.9	基本編2回 × 2 + 発展編2回 × 1	15 (48)	4.79 オール5：3コマ	
⑥ 2014.2-3	基本編2回 × 6 + 発展編2回 × 2	43 (120)	4.62 オール5：3コマ	複数地区で開催

(\*) 5(非常に有益)～3(普通)～1(役に立たない)

(参考資料\*1)

## (3) 伝える内容を考える

### ■ 情報リテラシー教育 / 学修支援に…

○ 各大学の教育改革の文脈で、図書館での教育活動が再考される機会があるはず

○ 「教育改革の文脈で」何か考えている教員がい  
らっしゃいませんか？ いなかったら、、、  
探しますか？ 自分の路線で進めますか？

※ “プレゼン”の集客力・必要度のおかげ？

では、“CiNii”の必要度を上げるために何を？

## (3) 伝える内容を考える

### ■ その場面で図書館目線を排除できるか

#### ○ インストラクショナル・デザイン

学習目標と動機付けを整理する (参考資料\*2)

#### 「Information Literacy Instruction Librarian 育成事業」

にもID他の e-learning あり。

#### ○ どのような検索行動をしているか質問したことは?

#### ○ コアユーザをターゲットに?

「切り抜ける(習得でなく)」授業を変えてもらう?

#### ○ 個別対応、定例化、イベントカレンダーなどによっ

て、ニーズを引き出す努力。

例: 蔵書検索端末の横で札でも立てて…

## (3) 伝える内容を考える

○「何をするのか？」

→皆さんの状況によって異なります・・・

相手目線で、最適解を 個別のDB? 一般的な使い方?

ライティング支援?

- ・実施、共催、協力する大学図書館は増加傾向  
ライティングセンターも広がりつつある。
- ・新しいミッション? 図書館の仕事じゃない?  
情報発信も情報リテラシー?  
※「それって図書館のすること?」は、やめてほしい...
- ・定型業務に? 場所の提供/サービスポイントの統合?  
サポーター/コーディネータに? プロデューサに?<sup>32</sup>



## (3-補) 顧客に分かりやすい言葉

### ■ 例：「OPAC」

- 即座に通じるか
- 覚えてもらうことが「情報リテラシー教育」か
- 登場後、20年ほど経過するが、未だに定着せず

→ 「蔵書検索」「パソコンで検索」などは？

(2013.10.10付け朝日新聞. 教育欄の「成人力 日本は得点差最小」  
には「図書館の検索システム」)

(参考資料\*3, 4)

## (3-補) 顧客に分かりやすい言葉

### ■例：「OPAC」

○「愛称」で親しみ、分かりやすさという考え

→それで定着できる／伝わるなら否定しません

本学の例：KOAN（学務システム）

マイハンダイ（いわゆるポータル）

CLE（授業支援システム）

→留学生も考慮なら、グローバルスタンダードな名称で ※(外していない)海外事例も参考に

○ディスカバリ・サービス、電子リソースリストも同じ。

## (3) 伝える内容を考える

### ■まとめると…

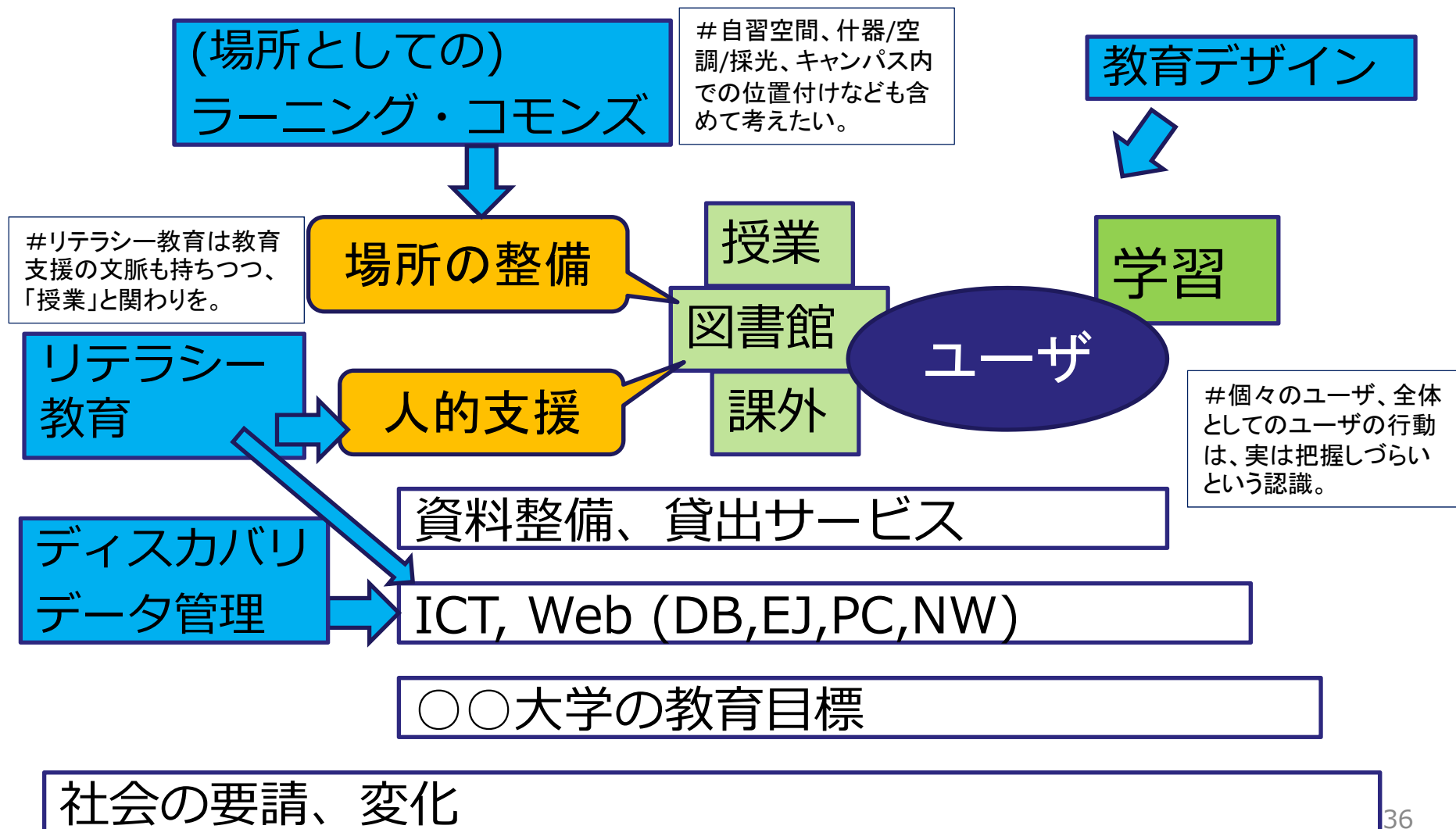
- 基本的に自己満足でなく、学生ないし大学の環境を考慮し、ニーズ把握のトライ・アンド・エラーをし続ける
- 「うれしい」と思ってもらえるテーマ、内容。

### 「常に問い直す必要」

※しかし…

- ・時間、職員という身分の制限
- 「時間を作る。仲間を作る」

# (4) まとめ



## (4) まとめ

- 「教員との連携」が課題？  
→ 何のために、何をしますか (“仲良く”ではなく)  
組織を一緒にする発想は？
- 「教育と連携」が課題？(シラバス読んでも分からない…)  
→ 教務との人事交流は？ (2014:N大、H大で実施とか)
- 「スキルなどの引き継ぎ」が課題？  
→ 「図書系」で異動？ 3年で異動？  
「学修支援系」の異動パターンは？

(中規模以上の大学図書館の場合)

## (4) まとめ

### ■ 根幹だと思われる余談 (1)

#### ○ 皆さんの悩みは

「リテラシー教育のマーケティング」？

- ・ 図書館活動のマーケティング？
- ・ 教育改革のマーケティング？
- ・ 普段から、数字やお客さんの行動を改善に反映？  
それをしていなければ、「リテラシー教育のマーケティング」  
なんかできるわけがない。

#### ○ 「利用者」か「お客さん」か

- ・ 何らかの行動モデルを対象に求めているか

## (4) まとめ

### ■ 根幹だと思われる余談 (1)

#### ○ 「情報リテラシー教育は大事」か？

→あえて言えば、NO！

学修支援のために、最適か、有用か。

あくまでその手段。

→“学生選書”の参加者交流会はあり？

気付き、意見交換、交流という学び？

“学生選書”の評価は購入冊数？ 教育効果？



※ 「いいものだと思った瞬間、目が曇るんです。『買わねえ奴が悪い』とか言って、高慢ちきになっちゃう」（「プレジデント」2013.11.4.からエステー会長 ※個人メモから転記）

## (4) まとめ

「図書館の高度化じゃないんですよ、

# 大学教育の高度化 なんです」

(本学経営企画系の某課長、当館グローバル・コモンズにて。2013。  
「著作権フリー、引用不要です笑」と、ご本人。)



## (4) まとめ

### ■ 「合理的」とは

「目的」と「手段」の一致

○ なんの[誰の]ために

( )

○ なにを

( )

## (4) まとめ

### ○部署を離れる時に、ご挨拶メールを送る教員等は何人いますか

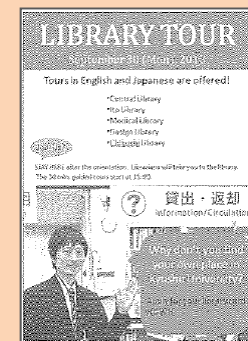
(久保山：約24名。内17名は全学教育・学修支援関係。他はICT、国際交流、学生の活動支援など。その後転出された教員から「力強い味方を得た気持ち」)

### ○半年以内に、何か実現しましょう。改善しましょう。〈絶対！ 研修は何のため?〉

### ○情報リテラシー教育を再考するのは 誰？ 〈状況は常に変わる〉

## (4) まとめ : Tips

- 講習ポスターに「終了しました」→当面出しておく
- 館内配置のチラシ、話題のきっかけに
- ポスターに担当者名、顔写真、講習風景  
(\* )実は自分の顔写真の上にステッカーを貼られたことも…
- 名刺を名札ケースに
- 教員/学生 4人と雑談したら、何か見えてくる。 (学生の様子、学生のレポートの書き方、XXの講習って知ってる? など定番ネタを)
- 授業暦をオフィスに貼っておく
- 詰め込まない。ユーザは「検索」に慣れている。
- “へー”と思ってくれる中味。  
講習後に“何ができるようになっているか”を意識。
- 館内の掲示、案内を精選  
→ユーザに役立つだろう情報を目にとまる場所に



上)九大図書館、オリ  
テでの配布チラシ(\*6)

## (4) まとめ : Tips

○1回生の早い時期に、授業一コマで図書館活用法の事例

- ・1回生の4~5月に覚えられることは限られるはず。



- ・覚えてほしい要点を絞れますか。

- ・それを最後の5分で繰り返し、強調。

例) 「ここから今日のまとめしまーす。○○で、私が大事って言ったことが3つあります。覚えてますか。じゃあ、あなた(指名)」

- ・時期を調整？
- ・必要度を感じさせるために、単位の脅し？ 効用を語る？
- ・「ガイダンス」でよい？ 教員にそう思われてる？

## (4) まとめ

- 今回学んだことを  
日常の行動・考えに落とし込む
- 「添乗員から徹底して聞きまくり、  
喜ばれるサービスを研究してきた」  
(加賀屋社長の講演。新潟日報 2014.11.27付け 日報抄から)  
ニーズの把握、参加者数などの課題への対応に共通性?

## (4) まとめ

### ■ 皆さんへの期待

来週から、3, 6ヶ月以内に、自分がすること、目標とすることは、なに？

○来週から

( )

○3ヶ月以内に

( )

○6ヶ月以内に

( )

※改善をはばむのは、環境？ 現状維持ベクトル？

## (4) まとめ

# 「心の温度」

どう維持するか。

そのための仕掛けを自分で作る。

(学内職員研修での参加者の言葉。2013)

## (4) まとめ：「学び続ける」

- 大学教育改革フォーラムin東海 (例年3月上旬の土曜。2015.3.7)  
名古屋大学。 <http://tokai-forum.jp/>
  - 大学教育学会 2014年度 課題研究集会 (2015.1.29)  
神奈川工科大学にて
  - あさがお
  - 鹿児島大学
  - 大学行政管理学会 定期総会・研究集会 (2015.9)  
関西大学にて
- 大阪大学 未来教育セミナー  
12月5日(金) 13:30 ~ 15:30  
大阪大学・吹田キャンパスにて  
ICU学長の講演など  
※当日申込OK



## (4) まとめ

### ■ 本講義の要点

#### 「情報リテラシー教育の再考」

◆ 大学教育との距離の縮め方を考える

-- 顔の見える関係から問題意識・関心の共有 --

◆ ユーザインタフェースを改めて考える

-- フロントにいる人も説明不要のデザインを --

◆ 学生に伝える内容を考える

-- 相手目線でトライ・アンド・エラーを --

## (4) まとめ

### ■ 強引なまとめ

◆ 学内 プレーヤー との小さなつながり

◆ 説明不要のデザインを **あなた**

が考える

◆ 各大学の **状況、相手の目線**

を考慮

## (4) まとめ・補：これも「連携」？

### ■ 交流の場としての図書館 = 「図書館のポテンシャル」

※考えの交流。単なる学習支援に留まらず、大学をよくするための声を聞き、一緒に考える。

→ 「学生選書交流会」 (2014)

### ■ 阪大生の「教養」形成の手伝い = 「近代・現代の古典」

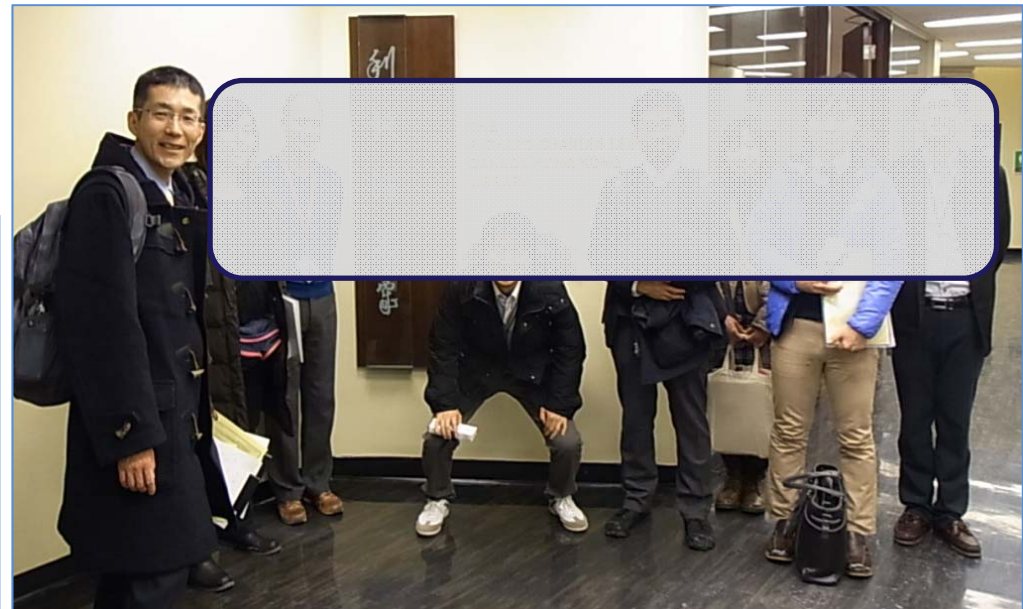
→ 「ブックコレクション  
書評対決」 (2014)

↓ 動画へのリンクあり



## (4) まとめ・補：これも「連携」？

- 海外視察 with 共通教育・経営企画・広報担当
- グローバル・コモンズが学内研修につながり、  
コラボ海外視察に展開 (2014.2)
  - ・ トロント大学
  - ・ ピッツバーグ大学



## (4) まとめ・補：空間のデザイン

### ■ リテラシー教育／学修支援の関連要素

- 組織目標 (運営の土台となる)
- 他部署との連携 (必須ではないが、エンジンになり得る)
- 部局内マネジメント
- 空間のデザイン
- 人財 (定型、コーディネート、プロデュース、エクスパンド)
- コンテンツ
- 授業との関係 (授業での内容は扱いにくい。授業に基づく学習)
- マンパワー (どう生み出すか)

ラーニング・コモンズの広がり  
の一方、  
ノウハウの蓄積は弱い印象

## (4) まとめ・補：空間のデザイン

### ■空間のデザイン

“ハコモノでいいのか”という議論の一方、学習を促進させるノウハウ、視点、機材の知識などは？

#### ○素人なりにできることはないか

- ・メジャー持参の視察
- ・既存施設での観察調査、インタビュー調査  
(学食で調査したという某国立大学図書館も)
- ・ファーストフード店、ファミレス等での内装：大きさ、色や素材
- ・高校までの教育環境、ICT環境

#### ○レファレンス「カウンタ」の行く末

- ・「カウンタ」という配置。無意識にユーザ側／職員側と分けていないか。
- ・TA、学生スタッフの存在
- ・Appointment Model は国内ではきびしい？

## (4) まとめ・補

### ■ 根幹だと思われる余談 (2)

#### ○ 職場での行動や思考の様式を変える

- ・ 控え目、評論家タイプなどと言われる
- ・ 同質的と言われる(国内の企業よりも)
- ・ 再考ないし再構成のスピード

※ 「類は友」「朱に交われば」……

- ・ 少し鈍感な（顧客目線を持った）出る杭に
- ・ 「反省するような奴は行動力がないから、新しいものができない」（「プレジデント」2013.11.4号、エステー会長の言葉）

## (4) まとめ・補

### ■ 提供者目線の強さ（補足）

○2013.9.11付け朝日新聞 「図書館の未来」

「集客力、最大化で街に活気」

CCC・図書館カンパニー社長、高橋聡さん

「日本十進分類法では『ベランダ菜園』の本が、  
産業→園芸→蔬（そ）菜園芸と分類される。菜園  
なのに産業ですよ。利用者のことを考えていない。  
新しい分類システムを作りました。変更後の『菜  
園』は趣味実用→園芸→家庭菜園です。」

（下線は引用者）



## (4) まとめ・補

### ■ マーケティングの点から（補足）

○2013.9.11付け朝日新聞 同記事

「武雄市がどこにあるのかも知りませんでした。本の仕事もしたことはないし、図書館にもほとんど行ったことがない。基本は図書館もツタヤの店舗を出店するのと同じだと考えました。まずは、市民が図書館に何を期待しているかを把握すること。数百人の対面調査を行い、CCCの発行するTカードから武雄市と同規模の5万人の都市でどんな本やサービスが望まれているかを調べました。」（下線は引用者）

## (本発表の参考資料)

- (1-1) 久保山健. 図書館スタッフによる学習支援の実践：「プレゼン入門 話す基本技術」. 大阪大学高等教育研究. 1. 2013  
<http://hdl.handle.net/11094/24850>
- (1-2) 久保山健(ほか). 図書館スタッフによる学修支援の実践、および事後評価：「プレゼン入門:話す基本技術」. 大学教育学会 第36回年次大会. 2014.6.1.  
<http://hdl.handle.net/11094/36154>
- (2) 兵藤健志ほか. 大学図書館活用セミナーをリデザインする：インストラクショナル・デザインを意識した図書館ガイダンスの取り組み. 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2011/2012. <http://hdl.handle.net/2324/24952>  
学生の状況を考慮し、学習目標および動機付けをきちんと整理して実践している好事例
- (3) 情報リテラシー研修で言えなかったこと。OPACという用語を段階的縮小へ (2012.12.1).  
[http://blog.goo.ne.jp/kuboyan\\_at\\_pitt/e/a503d2bbe4107af1bf5171579b2059aa](http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/a503d2bbe4107af1bf5171579b2059aa)
- (4) 「OPACという用語を段階的縮小へ」の追記 (2012.12.31).  
[http://blog.goo.ne.jp/kuboyan\\_at\\_pitt/e/0878cf3d1b7ff08014f1a670963e3c2b](http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/0878cf3d1b7ff08014f1a670963e3c2b)

## (本発表の参考資料)

- (5) 茂出木理子. 学習支援としての情報リテラシー教育：これまでとこれから. 大学図書館研究. 100. 2014
  - (6) 工藤絵里子. 九州大学附属図書館における新入留学生向け図書館サービス. 医学図書館. Vol60, no4. 2013. p418-423
  - (7) ブックコレクション ～ 教員 VS 学生【書評対決】～.大阪大学生生活協同組合. [http://www.osaka-univ.coop/event/07\\_4.html](http://www.osaka-univ.coop/event/07_4.html) [accessed 2014.11.11]
  - (8) 小貫有紀子. 学習促進者としての役割を認識し、教学マネジメントを担う. BETWEEN. 2014年1月号. P.9-10. [http://shinken-ad.co.jp/between/backnumber/pdf/2013\\_12\\_tokushu03.pdf](http://shinken-ad.co.jp/between/backnumber/pdf/2013_12_tokushu03.pdf)
  - (9) Information Literacy Instruction Librarian 育成事業. 名古屋大学附属図書館ほか. <http://el.nul.nagoya-u.ac.jp/instruction/>
- ※過去に同じタイトルで行われた天野絵里子氏の資料のアイデアも援用。

## (本発表の参考資料)

(その他：講師の関係する資料)

(s1) 久保山健. 大阪大学の新たな学習空間「グローバル・コモンズ」:その整備と教育実践. 大阪大学高等教育研究 2 2014.3.

<http://hdl.handle.net/11094/28107>

#抜き刷りを数量限定で配布？

(s2) ブックコレクション 書評集

(s3) 「プレゼン入門」の実践と事後評価についてのドラフト

(s4) 朝日新聞（声）「論文は構造を考えて執筆を」（2014.4.21）

(s5) 学内研修の事前課題から一部抜粋したもの

大学教育、留学、大学図書館関係の新聞記事の紹介

(s6) 講習会チラシ（2013年度実施）

\* 何部か会場で配布予定

## (ラーニング・コモンズに関する参考資料)

- (11) 米澤誠. インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援. カレントアウェアネス, No.289. 2006.9.20  
<http://current.ndl.go.jp/ca1603>
- (12) 米澤誠. ラーニング・コモンズの本質：ICT 時代における情報リテラシー／オープン教育を実現する基盤施設としての図書館. 名古屋大学附属図書館研究年報. No.7. 2008.  
[http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals\\_07.pdf](http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals_07.pdf)
- (13) 永田治樹. 大学図書館における新しい「場」：インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ. 名古屋大学附属図書館研究年報. No.7. 2008.  
[http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals\\_07.pdf](http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals_07.pdf)
- (14) 永田治樹. 図書館とインフォメーション・コモンズ：情報社会における共有資源. 情報管理. Vol.53, no.7. 2010.
- (15) 米澤誠. 学びを誘発するラーニング・コモンズ. カレントアウェアネス, No.317. 2013.9 <http://current.ndl.go.jp/ca1804>

## (情報リテラシー教育に関する参考資料)

- (21) 久松薫子、西脇亜由子、矢野恵子. 「図書館活用法」プログラム評価活動報告. 図書の譜 (明治大学図書館紀要) 13. 2009
- (22) 矢野 恵子、久松 薫子. 「図書館活用法」プログラム評価活動報告(2). 図書の譜 (明治大学図書館紀要) 15. 2011  
情報リテラシー教育の評価活動の好事例

# (学修支援に関連する答申等)

(31) 大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像（平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm)

(32) 上記の概要：

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1306126.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1306126.htm)

(33) 学士課程教育の構築に向けて（答申）2008(H20).12.24 中央教育審議会

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217067\\_001.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217067_001.pdf)

(34) 大学教育の分野別質保証の在り方について 2010(H22).7.22 日本学術会議

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-k100-1.pdf>

(35) 「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」（審議まとめ）2012(H24).3.26 中央教育審議会大学分科会大学教育部会

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm)

# (学修支援に関連する答申等)

- (36) 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ） .  
2013(平成25).8. 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/1338888.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/1338888.htm)



## (参考) オススメ本

(41) 「『分かりやすい表現』の技術—意図を正しく伝えるための16のルール」 講談社ブルーバックス (1999/3)

オススメ

(42) 「100円のコーラを1000円で売る方法」 中経出版 (2011/11)

2時間くらいで読める軽い内容だが、マーケティングや企業価値のイロハを考えられる。

(43) 「『ありがとう』といわれる販売員がしている6つの習慣」 同文館出版(2010)

顧客とのコミュニケーションにたくさんのヒントが得られる。類書は多いが、発表者にはとてもフィットした。比較的軽い内容。

(44) 「SEの勉強法」 日本実業出版社 (2010/5)

システムエンジニアって関係ないと思ったら大間違い。仕事の進め方、まとめ方を解説。兄弟本もあり。

(45) 「学びの空間が大学を変える」 ボイックス株式会社; 初版(2010/5)

どちらかと言うと空間や設備論? しかし、大事なポイント。

## (参考) オススメ本

(46) 「大学とは何か」 吉見俊哉著. 岩波新書 (2011)

大学の歴史、現在の大学の位置付けを解説。日本の大学はどう始まったか。学生運動はなんだったのか。私立・国立を巡る政策の経緯なども。

(47) 「アメリカの大学・ニッポンの大学：TA、シラバス、授業評価」 苅谷剛彦著. 中公新書ラクレ (2012)

92年の復刊だが、アメリカの教育事情、それをモデルにしている近年の日本の事情を理解する手助けになる。

(48) 新聞 (一般紙、日経新聞)